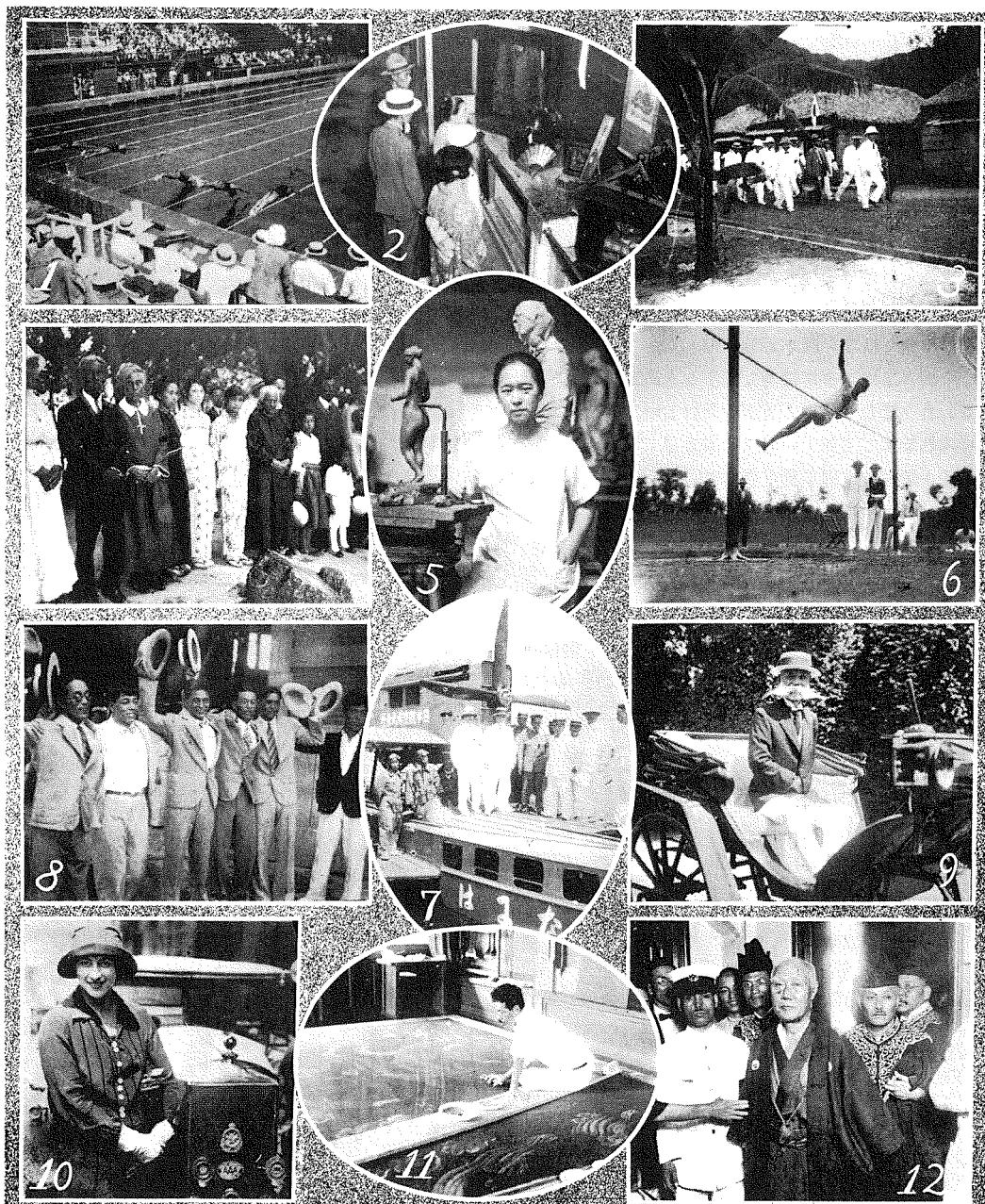


(1) 7月14日女子籠球の世界選手権を獲得せる竹早第二高女チーム兒矢野昌子嬢以下の優勝トロフィ授與式が同様に行はれた、中央マツクヴエ米大使左兒矢野嬢外チーム、(2) 7月15日首相官邸に於ける招待會に參集せる全國消防組頭五百餘名の盛宴、(3) 萬國議員會議が8月25日から5日間開かれるので日本を代表して三木建部氏等と場邊のバリーへ同道する佐々木蒙古王の自宅に於ける煙草書の製作振り、(4) 7月20日外務省に於て日獨間通商條約の正式調印を終へた、寫眞右側中央田中外相その前ゴルフ獨大使外委員連、(5) 萬國禁酒大會が米國加州に8月17日より開催我國より出席の右は金森澄子氏左は波邊順子氏、(6) 7月23日學生海外見學團第三班男女一行31名は岡田豊吉氏引率の下に横濱解纜の春洋丸にて桑港に向ひ出航せり寫眞は東京驛前に於ける一行、(7) 日本女子商業學校に於ける武術の獎勵毎日汗だくとなつてエーオーのかけ聲勇ましく齒部女史が指南役となり苦熱と戰いつゝ大試合、(8) 聖上陛下を迎へ奉れる小笠原島母島北村の全景、(9) 聖上陛下を迎へ奉る小笠原島民の砂糖キビ漬し、(10) 7月28日、聖上陛下横須賀軍港より小笠原島に御發航を御奉送する日進艦より見たる御召艦山城、(11) 7月29日明治神宮へ西多摩青年團が河鹿三千四を奉獻し其他松虫鈴虫等多數の奉獻あり、神苑に一層夏の情趣を添へた、(12) 米國留學生として六年の螢雪を積みエール大學文學博士の稱號を授つて歸朝した井上品子嬢と母の女大教授井上秀子女史。



(1) 7月30日玉川プールに於ける全國水上競技選手権大會第一日の盛況、(2) 8月1日より江戸開府320年記念の展覽會を上野公園自治節で開催寫眞は徳川家康が關ヶ原の戰場に使用せる陣羽織、(3) 7月30日小笠原行幸父島御徵行にて扇浦町御通過、御先頭陛下、(4) 小笠原行幸歸化人の奉迎、(5) 女流作家として將來を嘱され居る藤井浩祐氏の唯一の門弟太田喜女野さん、酷暑を外に「裸婦立像」を刻むに餘念なし、(6) 8月7日神宮競技場に於ける赫東オリンピック参加候選及決勝選手権大會第二日目走高跳で日本新レコードを作れる木村一男君の活躍振、(7) 8月9日東京へお目見得に現れた大阪の日本航空會社のドルニエワール機近く新航空旅客運搬を開始するので望月遞相を迎へ試乗式を行つた處、(8) 今夏ハワイに於て開催の汎太平洋水上競技會に日本を代表して出場すべき水の勇者達は必勝を期して8月10日東京驛出發す、向つて右より鶴田、佐田、木村高石、齋藤の諸氏、(9) 我航空界の功勞者階の長岡將軍は近く太平洋征空を前に控へた矢先突然に副會長を勇退、(10) 英國娘バイオレット嬢が單身自動車で世界一周の壯途に就く、寫眞はニューヨークに着いた處、(11) 府下大森のアトリエで側目もふらず大作に手をそめて居る院展派の川端龍子畫伯、(12) 8月16日被告人としての箕浦老、證人としての若槻前首相と同法廷に立つ其の日の劇的シーン。

## 編輯便り

○大震災の思出の日が来ました、初めて宇宙の脅威を感じた様なあの震災の悲惨な光景はまだ眼の前でまざ々と浮び出ますが、形見に觀るものとては寛に残り少くなつた。

○九月一日から一週間、努力週間として國民一般に各自の生活を緊張せしむる事、我等も大賛成である

○何かしら刺戟なくしては働けない様な國民が多くなつて來ては寛に國本が氣にかかる。

○全國各地の工事に從事してゐる人達は幸福である。日々變化して行く工事の進行を研究的にノートに入れる丈でも新しい日々の力を感じないか。

○我々編輯者は同じ様な意味で大なる使命を感じて

をる。

○炎天の際にもかゝはらず、利根川べりの關東水力電氣會社の作久發電所工事は鐵道省方面や内務省方面の先輩連中が視察に出掛けられるさうです。先輩連のみでなく寧ろ若い工事技術家たる人が三回位は必ず見て良い工事です。

○四谷の御所トンネル工事も中山氏が自慢される丈に見るべき代表的な工事です。

○遠くは下の關の浮足場や白川橋等もありますがそれは旅行の時にて、本號から工事視察の手引を多方面に記載しましたから旅行の次手には必ず視察あらん事を希望します。

## 受贈圖書雜誌

- 第四回保線講話會記録(七月發行)鐵道省保線課
- 鐵道軌道經營資料(七月號) 鐵道同志會
- セメント界彙報(八月號) セメント同業會
- 朝鮮土木建築協會々報(七月號) 同 會
- 日立評論(七月號) 同 社
- 建築世界(學校建築號及八月號) 同 社
- 道路の改良(八月號) 同 會
- 滿州建築協會雜誌(七月號) 同 會
- 港灣(八月號) 港灣協會
- 建設(八月號) 同 社
- 科學知識(八月號) 同 普及會
- 東洋建築材料商報(八月號) 同 社
- 大阪能率研究會誌(八月號) 同 社
- 移動砂利採掘機(説明書) 三泉工業株式會社
- 工政(建築の現在及將來) 同 會
- 建築畫報(八月號) 同 社
- 工業雜誌(八月號) 同 社
- 工學(八月號) 同 社
- 住(八月號) 住研究社
- 名古屋工業會々報(八月號) 同 會
- 工業と社會(八月號) 東京工業會
- 大日本農業協會雜誌(七月號) 同 會
- 都人(八月號) 同 社
- 日本と歐州大陸(第三號) フォードト事務所
- 電氣之友(八月一日號及び十五日號) 同 社
- 工業要錄(七月號) 同 發行所
- 帝國鐵道協會々報(七月發行號) 同 會
- 工人(八月號) 同 俱樂部
- 工業評論(八月號) 同 社

## 土木建築工事畫報 第三卷 第九號

## 定價七十錢(稅二錢)

毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行

購 読 料		
壹 部	七 十 錢	稅二錢
參ヶ月	貳 圓	稅 共
六ヶ月	四 圓	同
一 年	八 圓	同

(外國ハ一部稅共七十八錢)

注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便による但集金拂込料とも御負擔の事

昭和二年八月廿六日印刷納本  
昭和二年九月一日發行

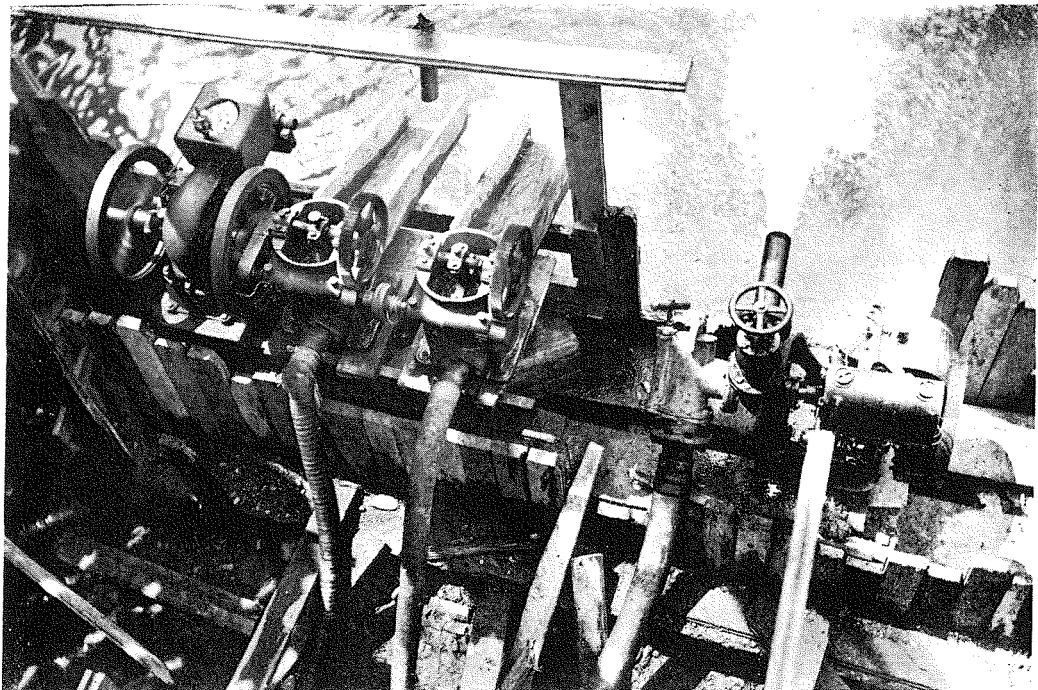
編輯兼岡崎保吉  
東京府北豐島郡西巢鴨町池袋九七三

印刷人鷺見知枝磨  
東京市京橋區木挽町一ノ一四

印刷所鷺見文友堂  
東京市京橋區木挽町一ノ一四

發行所工事畫報社  
東京市麹町區有樂町一丁目一番地  
電話丸ノ内二六三三番  
振替東京七〇貳六五番

大賣捌所 東京堂・東海堂・大東館・北陸館



THE PENWAY PUMPER

費用僅少      能力絶大      簡便堅牢

ペンエー、ポンプは田園の灌漑排水を初め開鑿工事土木建築諸工事に使用して最も理想的のポンプであります。

本圖に示すはペンエー、ポンプと、フェアー、バンク、モーズ式Z型エンジンにより運転中の二重式隔板ポンプとの排水力の比較である。ペンエーを兼用する以前は此ポンプと七人にて働く手操ポンプとを要しました此實景により如何に其排水力强大なるか推察する事が出來ませふ。

ペンシルベニア、ポンプ、コンプレッサー會社

東洋總代理店

株式會社 アンドリュウス商會

本社 東京市芝區芝公園五號地二ノ五

支社 大阪市西區江戸堀通三丁目一八番地

名古屋・札幌・小倉・京城・大連・紐育

---